



## NY 市場レポート

### ◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、米 ISM 製造業景況指数が 2 月以来の高水準に上昇したものの、米国の貿易問題に対する懸念が根強く、ドルは序盤やや上値の重い動きとなった。その後、ロス米商務長官が WTO 脱退について議論するのはやや尚早との考えを示したことから、底固い動きになった。また、下落していた米株価が下げ幅を縮小したことや、米長期金利の上昇も加わり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ユーロは、ドイツの政局を巡る懸念から主要通貨に対して下落が続いたものの、その後政局不安が後退したことから反発となった。

### 主要な米経済指標結果

6 月 ISM 製造業景況指数 60.2 (予想 58.5・前回 58.7)

6 月の米 ISM 製造業景況指数は、市場予想を上回り、前月から 1.5 ポイント上昇となった。製造業の景気拡大・縮小の分岐点となる 50 は 22 ヶ月連続で上回った。生産は 62.3 (前月 61.5)、在庫は 50.8 (50.2) と上昇したものの、新規受注が 63.5 (63.7)、雇用が 56.0 (56.3)、仕入れ価格が 76.8 (79.5) と低下した。6 月は 18 業種中 17 業種が景況拡大を報告した。



出所：Bloomberg

5月建設支出（前月比） 0.4%（予想 0.5%・前回 1.8%⇒0.9%）

5月米建設支出は、市場予想下回る前月比+0.4%の1兆3094億9000万ドル、前年比では+4.5%となった。民間の建設支出は、前月比+0.3%の1兆53億5100万ドル、前年比では+4.4%だった。住宅建設が+0.8%の5538億900万ドル、前年比では+6.6%。住宅以外の建設は-0.3%の4515億4200万ドル、前年比は+1.8%だった。連邦政府など公共部門の建設支出は+0.7%の3041億3900万ドル、前年比では+4.7%だった。



出所：Bloomberg

## 要人発言

### ロス米商務長官

- ・ WTOはある程度の改革が必要であることを認識している
- ・ WTOの活動を見直し、状況に適合させる必要性は間違いなくあると考える
- ・ われわれは先行きを見極める方針だ
- ・ 米国の世界貿易機関（WTO）脱退について議論するのはやや尚早

### トランプ米大統領

- ・ 公正な貿易に向け合意に非常に近い
- ・ もしそれがうまくいくなら、それはプラスになる
- ・ もしそうでなくても、それもプラスになる

## 米主要株価は小幅ながら 3 営業日続伸

米株式市場は、米国と中国、欧州などとの貿易摩擦が世界経済に悪影響を及ぼすとの警戒感から売りが先行した。その後は業績期待を背景に IT 関連株が買われたことが相場を押し上げた。ダウ平均株価が、序盤から軟調な動きとなり、一時前週末比 193 ドル安まで下落した。その後は、下げ幅を縮小して、終盤にプラス圏まで上昇し、3 営業日続伸となった。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	0.76%	1	ウォルグリーンBA	1.86%
2	金融	0.69%	2	マイクロソフト	1.42%
3	ヘルスケア	0.47%	3	GS	1.22%
4	通信サービス	0.22%	4	アップル	1.12%
	石油・ガス	-1.51%		ウォルマート	-1.93%

出所：データを基に SBILM が作成

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。